

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成27年 1月 9日		
所属学部・研究科	教育学部/研究科	2年次 (留学開始時点)		
留学先大学	ユヴァスキュラ(Jyväskylä)大学 (国名:フィンランド)			
所属学部・学科等名	教育学部 教師教育(Teacher Education Department)			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成26年 9月 2日 ~ 平成26年 12月 19日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: 学生在留許可			
	ビザ申請先: 在日フィンランド大使館 (東京)			
	取得方法, 提出書類: ネットで申請を行い, 大使館を訪ねる。 提出書類→健康保険書, パスポートのコピー, 受け入れ大学からの受け入れ証明, 講座の残高証明 (全て英語, ネット申請の際に添付し, 大使館に持参)			
	手続きに要した日数: 約90日			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成26年 8月31日			
経路	羽田—ミュンヘン—ヘルシンキ			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	9/2~5の4日間 学校全体の説明, 授業登録及び授業等で使用するネットページの説明, 学部ごとの説明 (授業内容等), 学生チューターによる学内・学校周辺案内			
帰国年月日	平成27年 1月 1日			
経路	ヘルシンキー—フランクフルト—羽田			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	約70万	円	
	内訳	渡航費	25万	円
		保険料	55,340	円
		教科書代(学費)	1万	円
		宿舍費	20万	円
		食費	10万	円
		その他 (生活費, 日用品等) (自転車費, 交通費)	7万 1万	円 円
<b>3. 授業について</b>				
2014年 秋学期	9月 7日	~	12月 19日	

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	特定のプログラムはなく、自分で取りたい授業を登録し、受講。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	科目によっては週2~3時間あるものや時間が固定されていないものもあるため、授業を組むのが大変だが、自分が本当に学びたいものを優先して組むと良い学習になる。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 6.1 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (2人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー (部屋で共有) <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 (部屋で共有) <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ベッド、マットレス、カーテン、机×2、椅子×2、棚、洗濯機・乾燥機 (全体で共有)、サウナ (全体で共有)、ジム)
住居費	1ヶ月当たり 227ユーロ(現地通貨) 約 34,000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	棟によってはよくパーティーが行われて騒がしいところもあるが先にリクエストを送るとそこは外してもらえるため、事前に確認しておいた方がよい。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	4ヶ月 55,340 円 補償額 死亡 10,000,000 円 その他 (留学生賠償責任 100,000,000 円)
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	実際に利用していないため分からない。 緊急搬送の際は医療費は無料だと聞いた。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	日本に比べてとても寒いためしっかりと防寒することが必要。また外は寒いが室温は高めに設定されているため温度変化に対応できる衣服が望ましい。水は水道水を飲むこともできるのでそれほど心配することはない。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
冬は日照時間が短くすぐに暗くなってしまうが、登下校を女子学生が1人でしていても危険だと感じることはなかった。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
フィンランドは寒いため多くの服や雪に備えた靴の持参も考えるが、古着屋等で安く購入でき、フィンランドの冬に対応できるため現地での購入した方がよい。 市内バスを除いてはほとんどのお店でクレジットカードが使用できる。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 28年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 28年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	留学中に取れなかった授業を来年度いこうに受講予定。4年時に教員採用試験を受ける予定。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	通常は3年次に行く教育実習を4年次に行く予定。ただし事前指導等受講できるものに関しては受講可能な時点で受け、なるべく先延ばしにしないようにする。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
All About	<a href="http://allabout.co.jp/gm/gc/407849/">http://allabout.co.jp/gm/gc/407849/</a>	フィンランドでの基本的な生活についてまとめている。
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
フィンランドは日本とは気候も違い体調管理は大変なこともあるが、フィンランド人と友達になると色々なアドバイスをもらえる。日本好きのフィンランド人もたくさんいるので、そのような学生と友達になるとフィンランドの良さを十分に感じる事が出来る。		

## 学習の概要に関するレポート

ユヴァスキュラ大学での授業は、学校側からの指定はなく自由に登録できたため、学びたいと思うものを履修することができた。私は言語の授業を2つ、教育の授業を1つ、言語教育の授業を3つ履修した。基本的には90～105分の授業を週に1コマ、14週であったが、授業によっては週に2コマ、7週というものがあつたり、曜日や時間がバラバラなものがあつたりと時間割を組むために工夫しなければならないものもあつた。しかし先生に相談すれば全ての授業に参加できなくても大丈夫であつたり、ほかの授業を代わりに受けることで出席とみなしてくれたり、柔軟な対応ができていて本当に学びたいことを学べる環境にあつた。

言語の授業では英語とフィンランド語を履修することができた。インテンシブの授業で正規の授業が始まる前の夏休みにも語学の授業はあつたが、諸用によりその時期にフィンランドに行くことが困難であつたため、私は正規の授業として英語の授業とフィンランド語の授業を履修した。英語の授業ではこれから英語での授業を受講するにあたり、どのような技能を身につければ良いかということについて学習し、その後の授業に生かすことができた。フィンランド語の授業は難易度別に様々なコースが設けられていたが、私は1番基本的な **Survival Finnish** という授業を履修した。この授業は挨拶や自己紹介の仕方、数字、よく使われる標識や看板、食べ物の名前といった、生活するために最低限必要な表現を学ぶものであつた。フィンランド語を学習するのは大変であつたが、実生活の中でも使うことができ学んで良かったと思えた。

教育の授業では **Education in Finland** という、世界最高水準と言われるフィンランドの教育について就学前から大学を始めとする高等教育について詳しく学習できるコースを履修した。この授業ではそれぞれの教育機関で実際に指導したことのある先生方が講義をして下さり、良い点・悪い点ともにフィンランドにおける教育について詳しく学習することができた。

私が1番履修して良かったと思っているのが言語教育に関する授業だ。将来英語の教師になることを考えている私はこれらの授業全てに満足することができた。3つの授業は全て対象とする学年が違ったが留学生ということで学年関係なしに履修することができた。このことが何よりも良かった。3つの授業とも、交換留学生、大学院に通う留学生、フィンランド人の学部生が履修していた。様々な学年の生徒、異なったバックグラウンドを持つ生徒と意見交換をすることにより、自分の価値観を広げることができた。

どの授業も日本の授業よりも課題が多いと感じたが、その分学べることも多く、授業が終わった時に履修して良かったと実感することができた。

また付嘱校の観察が自由であつたため、好きな時に観察に行くことができた。座学で学ぶだけでなく実際に見に行くことで多くのことを感じるすることができた。

## 生活の概要に関するレポート

フィンランドでの生活は想像していたより大変な面もあった。1番大変だったことは表示がほとんど全てフィンランド語あるいはスウェーデン語であるということだ。フィンランド国民の9割は英語が話せると言われている。実際に生活していてそれは事実だと感じた。しかしあくまでもフィンランドの公用語はフィンランド語とスウェーデン語である。英語で聞けば英語で答えてもらえるが、表示等には英語は書かれていない。近くのスーパーで買い物をしようと思っても英語は書かれていないため、いくら授業で少しは学んだとはいえ理解するのは大変だった。

アパートは3人部屋か2人部屋で私は3人部屋で、台湾人とチリ人とキッチン・バスルームを共有していた。部屋によっては日本人留学生と同じ部屋という場合もあったようだ。部屋には勉強机、椅子2個、机、棚、ベッドが付いており、他に食器類や寝具も借りることができ、ほとんど買わずに最低限の生活をするのができた。数は多くないが洗濯機・乾燥機も予約制で使うことができ、それほど不便なことはなかった。

スーパーはアパートの近くに3つほどあった。そのうちの2つは大きなスーパーであったためそこに行けば大抵の物は買うことができた。日本食はそれほど売っていなかったが醤油やお米は買うことができたため、日本食が恋しくなった時には自分で作ることもできた。しかし休日の営業時間が短く、祝日にはお店が空いていないなど日本では考えにくいこともあったため、スーパーの張り紙には注意することが必要であった。

お金に関しては、ほとんどのお店で利用制限なしにクレジットカードを利用することができ、またいたる所にクレジットカードから現金を下ろすATMがあったため、海外で利用できるクレジットカードがあれば苦労することはほとんどなかった。しかしいくつかのカードは使用できる場所がなかったため何種類かのカードを持っておくと便利だと感じた。

冬場の寒さは想像以上だ。私は12月で留学を終え帰国したため1番寒い時を経験していないが、9月には雪が降ることがあり、12月に入ると気温が氷点下であることは当然だった。最も寒い時には-20度まで冷えることもあった。洋服は古着屋さんが大学の周辺等にあるため、そこでしっかりと防寒出来る服を購入するのが良いと思う。また日照の変化が凄まじいのがフィンランドだ。9月には夜10時半頃でも明るい一方、12月になると9時頃に日が昇り2時半頃には日が沈んでしまう。さらに冬場は晴れる日が少ないため太陽を見ることがあまりなかった。フィンランド人に言われてサプリでビタミンの補給をしていた。

苦労することもあったが、日本ではできない貴重な経験をすることができ、様々な文化に触れることができ良かった。



9月の大学



アパートの部屋からの眺め



キャンパス間の橋



湖



大学近くの紅葉



アパートの近く



教会



アパート

11月初めの雪景色



学食 (2.6 ユーロ)





大学近くのスキー場



アパートの部屋の共有キッチン(3人部屋)(食器等はレンタル)



アパートのバスルーム(3人で共有)



アパートの部屋(優先ネット、暖房付き。布団等はサバイバルキットという形で Student Union からレンタル)



大学の図書館